

## チャレンジ！！オープンガバナンス 2018 市民／学生応募用紙

地域課題タイトル (注1)	No.	タイトル	自治体名
		八戸まちなか広場「マチニワ」を活用した八戸市中心街地の活性化について	八戸市
アイデア名(注2) (公開)	H-1 グランプリ		

(注1) 地域課題タイトルは、COG2018 サイトの中に記載してある応募自治体の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

### 1. 応募者情報

チーム名(公開)	東京大学にいかせてくれえ		
チーム属性(公開)	<input type="radio"/> 1. 市民によるチーム	<input checked="" type="radio"/> 2. 学生によるチーム	<input type="radio"/> 3. 市民、学生の混成によるチーム
メンバー数(公開)	6名		
代表者情報		鈴木 菜穂	
メンバー情報	氏名(公開)	淡路 えりい、段野下 美月、清水 向日葵、木村 涼、宮崎 真桜	

**(注意書き) ※ 必ず応募前にご一読ください。**

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2018\_応募用紙\_具体的チーム名\_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2018 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。 admin\_padit\_cog2018@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：

「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示-非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。

(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)

4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様でお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

## 2. アイデアの説明（公開）

（1）アイデアの内容、（2）アイデアの理由、（3）実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

### （1）アイデアの内容（公開）

アイデアは、課題解決のために、何をする社会的なサービス（活動）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したり、活用したくなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなワクワク感のあるアイデアを期待します。2ページ以内でご記入ください。

<応募チームとして解決したい課題>

八戸市中心街、マチニワの来客者数が少ないこと。

特に若年層が少なく、高齢者が多い。年齢層にばらつきがある。

<解決アイデアの内容>

**だれが** 八戸市内の高校生 県立高校：八戸高校、八戸北高校、八戸東高校、八戸西高校、八戸商業高校、八戸工業高校、八戸水産高校、八戸中央高校  
私立高校：八戸工業大学第二高等学校、八戸工業大学第一高等学校、八戸聖ウルスラ学院高等学校、八戸学院光星高等学校、千葉学園高等学校、向陵高等学校

八戸市中心街の飲食店

**何を** 八戸市の文化祭

**どこで** マチニワ、中心街

**いつ** 夏休み、冬休み中のそれぞれ二日間 午前 10 時から午後 3 時

**宣伝方法** 八戸市と協力してポスターやチラシを作成する。また、八戸市の Twitter や Facebook で宣伝してもらう。作成したポスターやチラシは、公共施設で掲示する。

### イベント参加について

対象 八戸市民、県外の人々

料金 一杯 400 円 参考文献 <https://kamyyusy.com/1835.html>

**どのように** 高校生が主体となり、「八戸市の文化祭」を開催。

中心街に屋台をだす。販売する料理は、夏に食べるとおいしいものランキング一位の「カレー」、冬に食べるとおいしいものランキング一位の「鍋」に限定する。夏休みにカレー、冬休みに鍋を出店する屋台の内容は、八戸市の有名な食材を加えた料理。調理は、高校生と八戸市中心街の飲食店に調理してもらう。

夏休みには、県立高校 8 校それぞれにんにく、山芋、さば、いか、ほたて、イワシ、南部せんべい、ごぼうを入れたカレーを屋台で販売する。

例 八戸高校 ニンニクを具としたカレー

八戸北高校 山芋を具としたカレー

冬休みは、私立高校6校それぞれ夏休み実施のカレーの具で人気だった上位6個の具材を入れた鍋を販売する。

例 八戸工大二高校 ニンニクを具とした鍋  
八戸工大一高校 山芋を具とした鍋

**投票方法** マチニワに、投票箱を設置して、どの具材を入れた料理が一番よかったかを投票してもらう。  
食べてくれたお客様に、食後マチニワに来てもらい、紙に一番美味しかった高校名を書いてもらう。

カレー、鍋それぞれの投票で一番だった料理のレシピを市内のスーパーに配給したり、SNSで発表したりする。  
また、そのレシピを使って、料理教室を行う。内容は以下のとおり。

**だれが** 八戸市中心街の飲食店の料理人を中心に指導する。また、高校生も共に指導する。人数（7人）

**だれに** 幼稚園児、老人ホームの入居者

**何を** 料理教室

**持ち物** エプロン、三角巾、マスク、スプーン、箸

**どこで** 八戸ポータルミュージアムはっち 4階 食のスタジオ

**いつ** 春休み2日間 1日目はカレー、2日目は鍋。午前10時から15時

**どのように** 「八戸市の文化祭」に参加してくれた市内の高校生と中心街の飲食店が食のスタジオで幼稚園児・老人ホームの入居者に1位のレシピを実際に作る料理教室を開催する。この宣伝は文化祭当日にポスターやチラシ、SNSで前もって宣伝する。

## (2) アイデアの理由（公開）

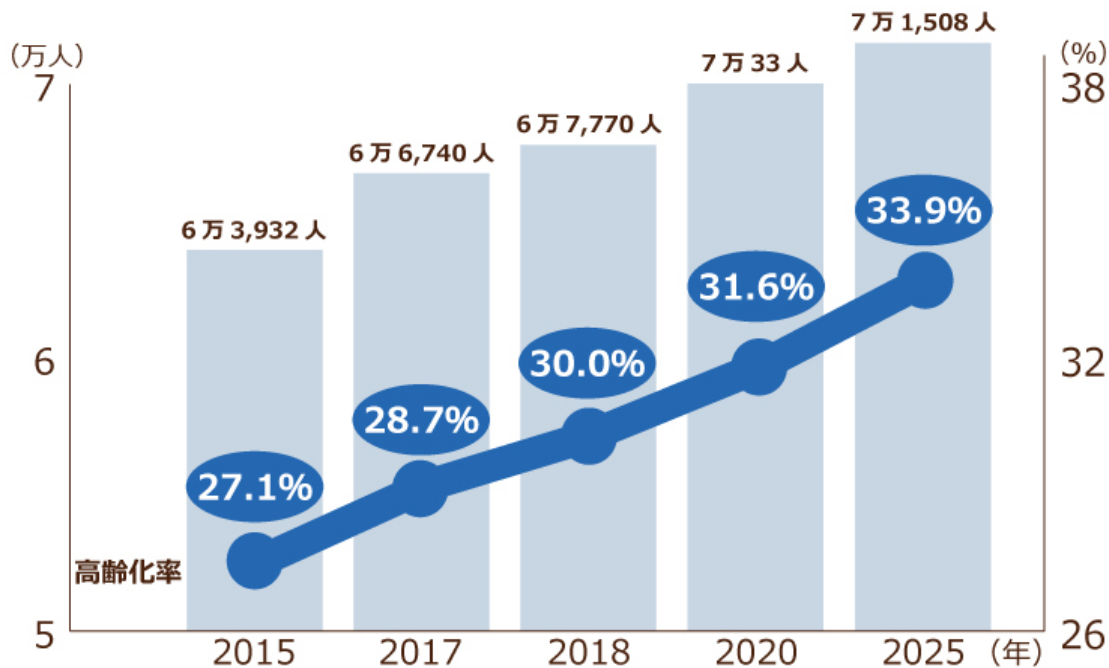
このアイデアを提案する理由について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類の数値データやアンケート・インタビューなどの資料や関連の計画、既存の施策などの定性データのことを総称します。データは出所を明らかにしてください。

### 八戸市の文化祭というテーマにした理由

- ① 高校生が主体となって、八戸市を活性化させるため。
  - ② 八戸市の名産品をアピールし、地産地消に繋げるため。
  - ③ 食を通して八戸市民を繋げるため。
- ① このグラフから、八戸市の高齢者人口は年々増加傾向にあります。そのため、若い世代である10代がこれからの八戸市を背負っていく必要があると考えられます。また、「高校生が主体となる」ことで高校生自身が自ら八戸市の魅力を発見し、市内・県内の就職率UPにも繋がると考えられます。

[https://minnanokaigo.s3-ap-northeast-1.amazonaws.com/js/upload/images/20180720140802\\_.jpg](https://minnanokaigo.s3-ap-northeast-1.amazonaws.com/js/upload/images/20180720140802_.jpg)

### 八戸市の高齢者人口



② 八戸市の名産品をアピールし、地産地消にイカ、サバ、イワシ 水揚げ量上位3位

<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/14,186,113,html>

ニンニク、ゴボウ、山芋 収穫量上位3位

<https://www.yasainavi.com/graph/pref/pr=2>

ホタテ 消費量1位

<https://region-case.com/rank-h29-scallop/>

南部せんべい

<https://hachinohe-kanko.com>

③ 「八戸市食育推進計画」より 地産地消に関心があるか（成人計）

29. 8% → 関心があり、地元産の食材を使うように心がけている

51. 9% → 関心はあるが、特に地元さんにこだわってはいない

14. 3% → それほど関心がない

1. 5% → 全く関心がない

2. 6% → 無回答

[www.city.hachinohe.aomori.jp](http://www.city.hachinohe.aomori.jp)

この結果から、地元産の食材を使うよう心がけている人は約3割というものの、関心はあるが中々地産地消に貢献できている人が少ないということが分かります。そのため、地元産の食材を使った料理を提供することで、食を通して市民が繋がり、地産地消に貢献することができると考えられます。また、料理教室を開催する理由は、普段高校生が交流する機会が少ない世代と関わることで、より様々な世代とも食を通して繋がることからです。

**(3) アイデア実現までの流れ (公開)**

アイデアを実現する主体、アイデアの実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの実現にいたる時間軸を含むプロセス、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、アイデア実現までの大まかな流れについて、2 ページ以内でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

**ヒト** 八戸市内の高校生 (各校10名ずつ 内訳 販売3、接客2、会計2、調理3)

八戸市の高校生には、開催する1年前に各高校に資料を配布し、八戸商業高校の生徒と、八戸市役所の人と交渉する。参加できると決まった場合、参加者を各高校で選抜してもらう。

中心街の飲食店には、開催する1年前に資料を配布し、交渉する。

県立高校 八戸高校、八戸北高校、八戸東高校、八戸西高校、八戸商業高校、八戸工業高校、八戸水産高校、八戸中央高校

私立高校 八戸工大二高校、八戸工大一高校、八戸聖ウルスラ学院高校、八戸学院光星高校、八戸千葉学園高校、八戸向陵高校

八戸市中心街の飲食店

**モノ** 食材 カレー(カレー粉、豚肉、玉ねぎ大、ニンジン大、ジャガイモ大、水、米、福神漬け)

材料の参考文献 <http://www.sbcurry.com/recipe/standard01/>

カレー粉 4,000 キロ

豚肉 6,000 キロ

玉ねぎ大 3,200 個

ニンジン大 800 個

ジャガイモ大 3,200 個

水 200,000 cc

米 8,800 合

福神漬け 20,000 グラム

この資料の50人前を参考とし、20,000人前を計算した。

<https://cookpad.com/recipe/2763710>

(ニンニク、山芋、サバ、イカ、ホタテ、イワシ、南部せんべい、ゴボウ)

材料の参考文献 <http://cookpad.com/recipe/4697284>

鍋 (鶏もも肉、生鮭、塩たら、ほたて、かき、えび、白菜、長ネギ、ニンジン、しいたけ co.op 魚介だしが決めて豚骨鍋つゆ)

鶏もも肉 500 枚

生鮭 1,000 切れ

塩たら 1,000 切れ

ほたて 2,000 個

かき 4,000 個

えび 2,000 尾

白菜 70 株

長ネギ 1,000 本

ニンジン 130 本

しいたけ 2,000 枚

co.op 魚介だしが決めて 豚骨鍋つゆ 500 袋

野菜などの具材は、地元の生産者と直接交渉し、直接仕入れる。  
屋台のテントは、各高校のテントを使用

**カネ** 食材費 カレー 1 人前約 90 円計算とし、20,000 人分で、1,800,000 円

参考文献 <http://tuiterune.org/583.html>

ガス代

電気代

マチニワ使用料（一日全面 ¥ 31,440）

夏休み冬休みのマチニワ使用料合計（¥ 125,760）

備品, はっち 食のスタジオ使用料（¥3,390 午前 9 時から午後 5 時まで）

**予想** 「八戸市の文化祭」来客数 6,000 人（1 日）× 4 日間 合計 24,000 人

はっちの 1 日平均来館者数約 2,700 人を参考に、イベント開催時は 2 倍と考え、約 6,000 人とする。

予算 200,000 円（食材費、マチニワ使用料四日間）

売上高 24,000（夏、冬の四日間の来客数）×一杯 400 円× 2.5 杯分（1 人 2 杯以上食べることを想定） = 24,000,000